



発行：豊町東町会 編集：事務局広報部
お問合せ 豊町ふるさと会館 Tel & Fax 04-7169-1101

今号のご案内

- イベントの大半が中止に
- "YEY、活動始まる
- 危険な陸橋下交差点
- 取手、藤代の宿へ

前半のイベント大半が中止に

コロナ禍の町会活動



《防犯パトロールも密を避けて》 コロナ禍により町会やふるさと協議会のイベントなどの地域活動のほとんどが中止という事態が続いています。先号でもお知らせしたように令和2年度の定期総会も開催できず、書面による議案の承認という異例のスタート。今期予定されていたゴミゼロ運動&バーベキュー大会、災害図上訓練、婦人部の日帰りバスツアー、リサイクル施設研修といったイベントがすべて中止。

柏まつりをはじめ、当町会や近隣町会の夏祭りも軒並みに中止となり、協議会の秋の体育祭も開催されません。民生委員による高齢者への声かけ訪問(5~6月)もできず、一人暮らしの高齢者の孤立化も心配されています。

防災のメールマガジンを開設

災害は待ったなし

終息の見通しが立たず、新型コロナウイルスと共存する新しい生活が求められています。町会の活動についても、3密を避けるなど感染防止策の徹底を前提に、イベントの再開に取り組んでいます。

感染が拡大しても、大雨や強風、地震といった災害は待つてはくれません。コロナ禍という状況だからこそ、地域の安全を確保するための準備や対策が大事だと考えています。



緊急メール通信

町会では会員のみなさんへの連絡網となるメールマガジンを開設しました。町会の各種行事についての連絡などに活用できるほか、災害時の緊急連絡に役立てられます。町会のホームページから、もしくは、上記のQRコードから登録してください。

"YEY、が初イベント

"ぼうさい探検隊、など



イベントの第1弾として、今年発足した「Yutaka East Youth Club」(ユタカ・イースト・ユースクラブ 略称"YEY、)が防災を中心としたAED講習会や「ぼうさい探検隊」を実施しました(2面に詳報)。小学生や中学生に防災意識を身につけてもらおうという催しです。

成人向けにも、各区を中心にAED講習会、防犯診断、防災診断、防災カフェなどを実施してゆきます。

炊出し訓練を行います

10月10日 低見台公園で

災害を想定し、電気もガスも使えない状態でごはんを炊く訓練を実施します。10月10日午前11時ごろ低見台公園に集合。防災倉庫からカマドなどを用意し、マキを使ってお釜でごはんを炊きます。水加減や火加減がむずかしい炊飯、一度は体験しておきましょう。YEYのメンバーも参加します。

町をきれいに、安全に

豊小児童のポスター作製中

豊小学校の児童が描いたポスターを町内に展示するポスターキャンペーン。いまポスターを制作中で来春に町内の道路沿いのフェンスなど目立つ場所に展示されます。

豊小と町会がタイアップして続けている恒例のイベントで、来春卒業する児童が町の安全や美化をテーマにポスターを描いてくれます。

「ペットのふんの始末は飼い主の責任!」「タバコのポイ捨ては絶対ダメ!」など児童が願いを込めて描いた約400枚を雨除けのビニールで覆うなどポスターに仕上げて完成させます。



YEY 活動スタート

「防災」を勉強し、危険を体験

これまでの子供会を発展させた地域の青少年の組織「Yutaka East Youth Club」(ユタカ・イースト・ユースクラブ。略称 YEY)の活動が始まりました。「防災」をテーマにした学習と体験の3つのイベントです。

街を歩けば危険がいっぱい

「ぼうさい探検隊」(9月19日)

震度6～7級の地震がきたら街はどうなるか。町内を歩いて何が危険かを探ろうという企画で、小学1年生～中学1年生7人とお母さんらが参加。低見台公園を出発し豊小学校を経て豊町ふるさと会館までのコース。気象庁で地震津波防災対策室長などをつとめ、現在は防災士、災害ボランティアコーディネーターの荒谷博さんのアドバイスを受けながら、何が危険かを観察しチェック。車の通行が多い道路もあり、青少年部のメンバーらが安全を見守りながらの探検です。



みんながチェックしたものを荒谷さんの解説でまとめると。

- 電柱・電線** いたるところに。重量はあるし倒れる方角も不明。
- 屋根がわら** 古い住宅などで使われている。下を通るのは危険。
- 自動販売機** しっかり固定されていないものは揺れで倒れる。

カーポート 簡単に設置してあるので、動きやすい。

古い家屋 震度6～7級の地震でまず倒壊する。

この日は見なかったのですが、他にも工事用のクレーン車、神社の石垣、プロパンガスボンベ、歩道橋なども。「いつも歩いているのに気がつかなかった」と子供たちもしっかりと怖さを実感したようでした。



阪神淡路大震災などを知る

AED講習会も(8月10日)

勉強会には小中学生11人が参加。阪神淡路大震災発生時の家やビルが倒れる、家具が室内に散乱する、高速道路がくずれ落ちるといったナマの動画を見て震度7級の地震の怖さを知りました。講師をつとめた荒谷さんは「大地震の際は、少しでも安全な場所で身を守ることが大切」など、基本的な心構えのいろいろを教えてくださいました。

またAEDの講習会は、消防団第8分団の講習資格を持つみなさんが指導。AEDは病気やケガで心臓が止まった人に電気ショックを与えて、働きを元に戻すのに必要な器具であること、町内のどこにあるかなどをわかりやすく解説。小学生にはかなり力がいらしますが、訓練キットの人形を使い、実際の操作の仕方も体験しました。



Yutaka East Youth Club

ユタカ イースト ユース クラブ

昨年まであった子供会を発展させた組織で、豊町東町会を中心とした地域の小学生、中学生、高校生が対象です。地域の子供たちの活動を町

会がバックアップ。町会青少年部が企画や運営を行います。会費は年1200円。

今後のイベントとしては10月10日(土)に炊き出し訓練、12月にXマスオンラインコンサート(豊小金管クラブや「豊太鼓」のXマスのための演奏を配信)、Xマス会(これまでの子供会で実施してきた催し)などを予定しています。

募集中! 会員を募集しています

豊町東町会事務局へメールもしくは、お電話ください。

豊町東町会事務局

メール: yutaka.east@gmail.com

TEL: 04-7169-1101 (火・木・土曜日 9:30~12:00)



会員登録



小学校と地域の連携を

防災について話し合い



【平成29年度の給水訓練】 9月18日、豊小学校で行われました。

小学校からは今年4月に赴任した赤澤校長先生と土田教頭先生、地域からは近隣センター平島所長、豊町東町会佐野会長、遠山副会長、ふるさと協議会防犯防災部長で豊町西町会岡部副会長らが出席。昨年の台風19号の際の避難の状況やコロナ禍での防災のあり方などを話し合い、当面のイベントとして11月に給水訓練を行うことを決めました。

豊小学校には飲料用の井戸はなくて、市の給水車による給水が行われます。学校の倉庫からタンクを給水場所まで運び、設置するための台を組み立てる作業手順を確認します。豊町東、西町会や近隣の町会から参加する予定です。

危険な陸橋下の交差点

豊小児童がひき逃げ事故に

旧水戸街道とJR常磐線をまたいで国道6号方面に向かう道路との交差点は、交通量が多く、これまで何回も事故が起きています。



9月9日に下校中の豊小学校2年の男児が、柏方面からきた軽乗用車にはねられ、鎖骨を折る大ケガをしました。車はそのまま逃走。

この交差点は十字路の信号機のほか、側道から旧水戸街道に出る信号機もあって、車の動きが複雑で信号が青でも安心できません。児童も青信号で横断歩道を渡ろうとしてはねられています。

これまでも老人クラブ「明寿会」などボランティアが見守りをしてきましたが、危険が大きいため事故を契機に中止。しばらくは豊小の先生が見守りに当たりました。町会では登下校時の警察官による見守りを要望していますが、みなさんもここでの横断にはくれぐれも注意してください。

市内最古の消防小屋撤去

跡地の有効活用を検討

柏市消防団第8分団の消防小屋が新築、移転したのに伴い、豊町ふるさと会館前の古い建物が撤去されます。この小屋は昭和48年に建てられたもので、柏市内に現存する最も古い建物。工事は10月末から始められ、11月なかばに撤去の予定です。



撤去後は駐車などに利用しているスペースが広くなり、跡地をフリーマーケットなどの会場に利用できないか、検討しています。

傘寿おめでとう

協議会、町会からプレゼント

今年80歳を迎える方に、ふるさと協議会（豊町東町会など7町会で構成）からお祝いのカステラがプレゼントされました。豊町東町会では41人が、町会からもお茶などを贈呈。9月15日に民生委員さんが担当する地区のそれぞれのお宅を訪ねて手渡し、長寿を祝いました。

捨ってもなくならないゴミ

明寿会のみなさんが奮闘中

老人クラブ「明寿会」の有志が町内のゴミ拾いを続けてもう4年になります。いまのメンバーは8人。自宅周辺、公園、駅への道などそれぞれの場所をきめて週に1～3回、多い人は毎日やっています。



タバコのポイ捨てや、イヌのふんを片付けない、食べためんのカップを袋ごと捨てるなどマナーの悪さは相変わらず。70～80代の方ががんばっています。ゴミ捨てはやめましょう。



●取手の名刹 長禅寺



大利根橋を渡り右へ曲がる旧道を進むと、左手に古い店構えの田中酒造店。その角を左折して長い石階段の参道を上ると長禅寺です。承平元年(931)平将門が創建

したと伝えられる古いお寺。

静かな境内にある観音堂「三世堂」は、内部が三層になっていて、坂東、秩父、四国の霊場の百か所にある観音像が安置されています。

前記の田中酒造店は明暦元年(1655)創業の老舗。軒を並べる奈良漬の新六本店とともに歴史を感じさせる古い建物で、旧道の趣きが味わえます。

●今も残る本陣跡 染谷家

旧道を北進するとまもなく左側に取手宿の本陣だった染谷家住宅。染谷家は貞享4年(1687)から明治の初めまで180年余り本陣兼名主でした。建物は寛政7年の再建で、見事なかやぶき屋根をいただく風格のある造り。本陣の建物が現存するのは旧水戸街道で3か所だけ。貴重な遺産です。



庭に水戸藩9代藩主徳川斉昭が利根川の渡しの船で詠んだという「指て行 さほのとりにての渡し舟 おもふかたへは とくつきにけり」と刻まれた歌碑が建っています。

●将門伝説が多い取手

取手とは「砦」の意で、古くは城砦があったといわれます。江戸時代の医師で地理学の大家でもあった赤松宗旦の『利根川図志』には「この野は昔大鹿作左衛門某が住みし城跡なりとぞ、さては麓なる取手ノ宿は、それに因れる名なるべし」と書かれています。

取手にゆかりの深いのが平将門。ここで生まれ育ったとも。桓武平氏の血をひく高貴な身分でしたが、朝廷に反抗して殺されました。ひところは、常陸、下野地方を勢力下においたこともあって、周辺には将門にゆかりの場所もたくさんあるということです。

●道標とサイカチの大木

しばらく歩くと、取手宿の産土神として信仰を集めた八坂神社。その先左手に入ったところにある阿夫利神社は、神奈川県伊



勢原市にある大山阿夫利神社の分神として昭和13年に建てられたもの。



旧道に戻り1.5キロメートルほど歩くと、道路右側に道標があり、「江戸与利十里二十二丁」と刻まれていました。そばにサイカチの大木が。樹高17メートル、推定樹齢202年で、取手市の保存樹木に指定されています。

●田園地帯を歩いて藤代宿へ

車の通行もほとんどない、のどかな田園風景を楽しみながら、旧道を歩きます。少し足が疲れるころ常磐線の踏切があり「陸前浜街道踏切」の表示板が。明治5年に街道の呼称が改められた名残です。



踏切を渡ると藤代の町中へ。取手市藤代庁舎の先にある相馬神社は元享3年(1321)の建立といわれていますが、火災にあい慶応3年(1867)の再建。



藤代宿の本陣は、いまの中央公民館のところにあり、木造かやぶき、唐破風造りの玄関を持つ建物が残っていましたが、昭和31年の町村合併のとき、とりこわされました。公民館の敷地にある百日紅(さるすべり)の老樹は本陣の玄関前にあったそうです。(つづく)

※街道探検の詳細は、町会のホームページをご覧ください。